

富山県感染症発生動向速報

(2025年第7週分・2月10日～2月16日)

■今週の主な動向

○感染性胃腸炎の報告数が多い状況です。

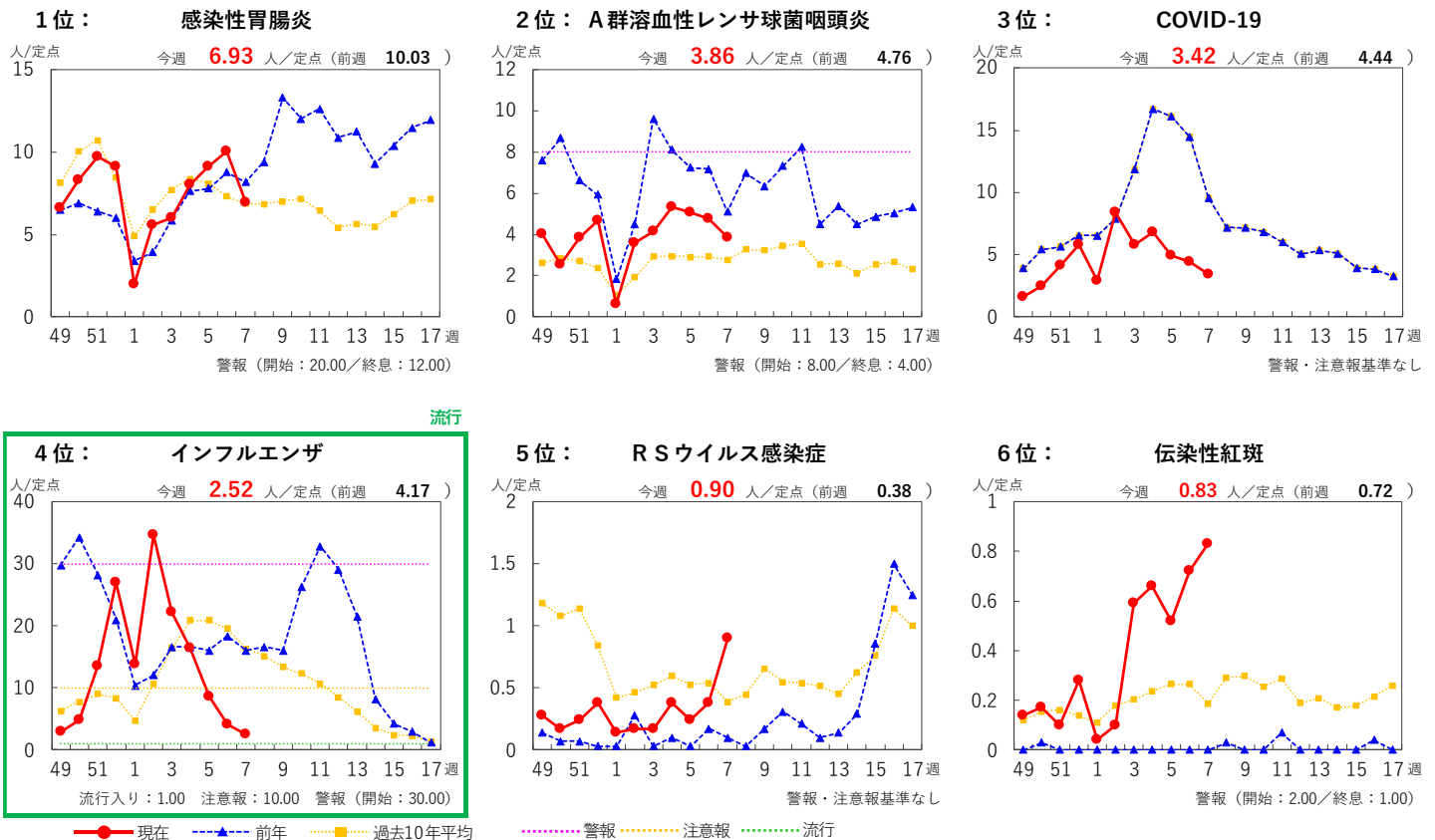
例年、冬季に患者報告数が増える傾向があります。ノロウイルスによる胃腸炎や食中毒では、汚染された糞便や吐物は、マスク・手袋を着用したうえで、塩素系消毒剤等を用いて処理する必要があります。(第5週インフォメーション参照)

○伝染性紅斑の報告数が増えています。

全国では昨年11月ごろから急増し、富山県でも第3週以降増加傾向です。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので注意が必要です。(2枚目インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位6疾患 (第7週・2/10～2/16)



厚生センター(保健所)管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 4件 (①20歳代、男性 ②30歳代、女性 ③30歳代、女性 ④80歳代、女性)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (70歳代、女性、G群)

侵襲性肺炎球菌感染症 2件 (①60歳代、女性 ②80歳代、男性)

梅毒 1件 (30歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

百日咳 1件 (10歳代、男性)





子どものほほが赤くなるリンゴ病 妊婦さんは感染にご注意を

《 インフォメーション 》

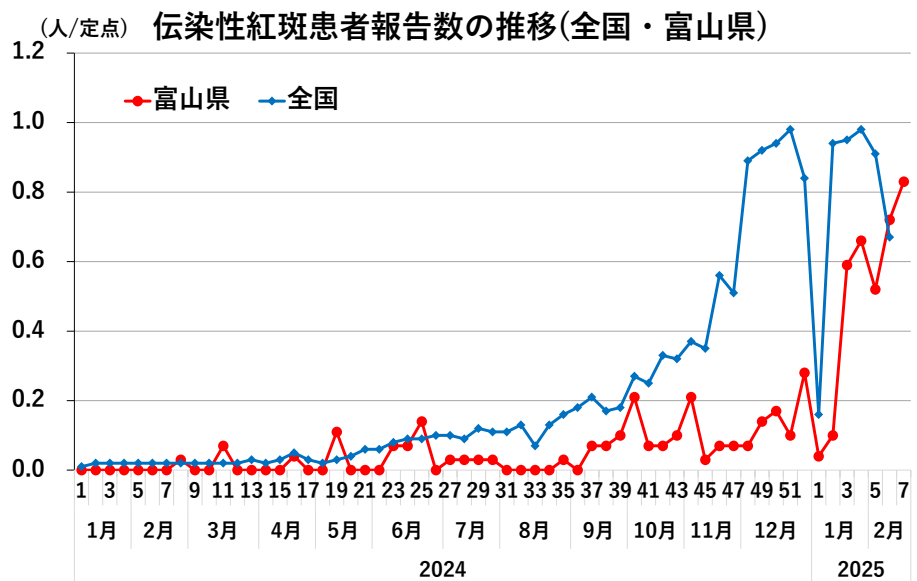
●伝染性紅斑（リンゴ病）

全国の伝染性紅斑患者報告数は昨年夏ごろから緩やかな増加傾向が続き、11月ごろから急増しました。今年に入ってからからは、第4週以降減少傾向となっており先週0.67人/定点となっています(図：青線)。

富山県内においては、今年に入ってから増加傾向が見られています。今週の患者報告数は0.83人/定点となり、先週の0.72人/定点より若干増加しました(図：赤線)。

全国、富山県ともに新型コロナウイルスパンデミック以降、大きな流行はみられていませんでした。伝染性紅斑の流行は、年始から7月上旬頃にかけて増加し9月頃には減衰する季節性を示すことが多いです。パンデミック前には数年毎に流行がみられていたため、今後の動向には注意が必要です。

伝染性紅斑は、パルボウイルスB19を原因とする小児科定点把握疾患です。患者の年齢は、5～9歳が最も多く、次いで0～4歳が多いとされています。小児の場合、感染後10～20日で両方の頬に「紅斑」が出現し、リンゴの様に赤くなるが多いため、「リンゴ病」とも呼ばれています。紅斑は手足や体に広がることもあります。約1週間で消失しますが、長引く場合や一度消えた紅斑が再度現れる場合もあります。紅斑が現れる1週間～10日前には、微熱や風邪の様な症状がみられます。この時期にウイルスの排出が最も多くなり、感染力が強くなります。一方、紅斑が現れる時期にはウイルス量は少なくなっており、感染力はほとんどないと考えられています。伝染性紅斑は、大人が罹患することもあります。子どものように頬が赤くなることは少なく、手足の腫れや関節痛、関節の腫れなどが強く現れます。妊婦が感染すると、胎児に異常が起り流産等の原因になることがあります。本感染症の感染経路は主に飛沫、接触感染です。妊娠中は風邪症状のある方との接触をなるべく避け、流水や石けんによる手洗いなどの予防を心がけましょう。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第7週 2025年2月10日～2025年2月16日）

分類	疾患	今週報告分（第7週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核	1		1		2	4	1		4	1	6	12
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く	1				1	2	1		1	1	3	6
	四類感染症	E型肝炎									2			2
		A型肝炎									1			1
		レジオネラ症									1			1
	五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			1		2	3
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1		2	4		1	3	4	12
梅毒						1	1	1		1		3	5	
百日咳				1			1			2	1		3	
インフルエンザ/ COVID-19定点 (48定点)	インフルエンザ	12	9	48	7	45	121	766	446	1,388	842	1,432	4,874	
	COVID-19	1.71	1.80	3.69	1.00	2.81	2.52							
小児科定点 (29定点)	RSウイルス感染症	36	16	52	24	36	164	396	188	430	320	418	1,752	
		5.14	3.20	4.00	3.43	2.25	3.42							
	咽頭結膜熱	1		13		12	26	7	2	33		27	69	
		0.25		1.63		1.20	0.90							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1	6	5	15	23	8	72	1	13	117		
		0.75	0.33	0.75		0.50	0.52							
	感染性胃腸炎	3	6	39	1	63	112	28	44	280	32	410	794	
		0.75	2.00	4.88	0.25	6.30	3.86							
	水痘	28	15	33	16	109	201	144	115	182	122	816	1,379	
		7.00	5.00	4.13	4.00	10.90	6.93							
	手足口病			1		2	3	2	4	8	4	14	32	
				0.13		0.20	0.10							
	伝染性紅斑													
		1	3	10	1	9	24	1	4	52	2	41	100	
	突発性発しん			1			1			1	13	5	18	37
			0.13			0.03								
ヘルパンギーナ	1					1	8					8		
	0.25					0.03								
流行性耳下腺炎					2	2			3	1	1	3	8	
					0.20	0.07								
眼科定点 (7定点)	急性出血性結膜炎				3	3			3	4		7		
					3.00	0.43								
流行性角結膜炎			1	1		2			11	1		12		
			0.50	1.00		0.29								
基幹定点 (5定点)	細菌性髄膜炎										1	1		
	マイコプラズマ肺炎	1		1	1	3	4		9	10	2	25		
		1.00		1.00	1.00	0.60								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								2			2			
入院サーベイランス (5定点)	インフルエンザによる入院患者（※1）			2		2	4	55	19	42	64	45	225	
	COVID-19による入院患者	2	2	3	14	9	30	34	39	35	77	86	271	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9月2日）～の集計です。

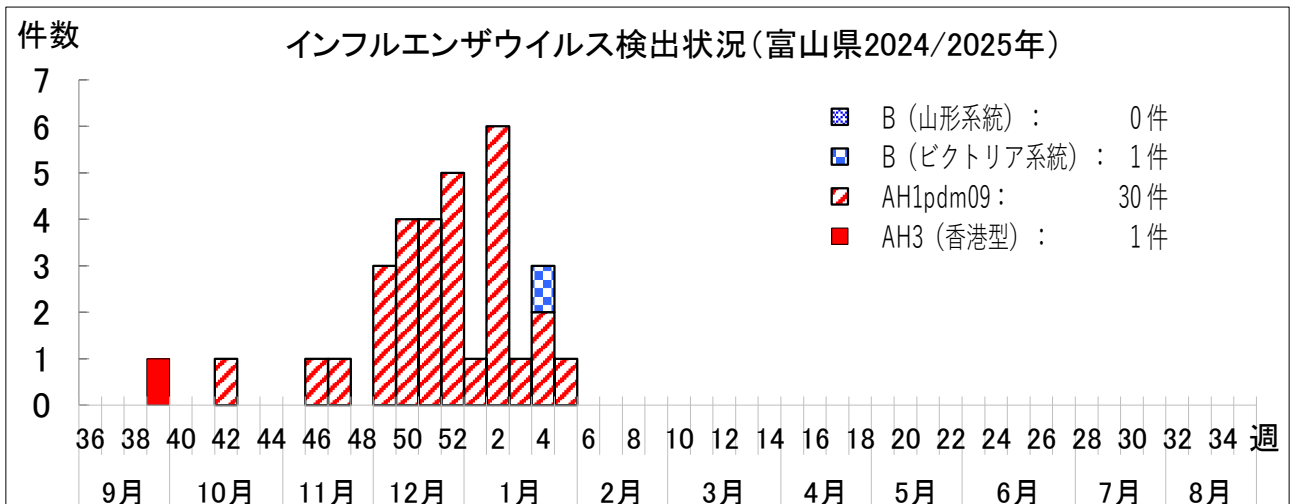
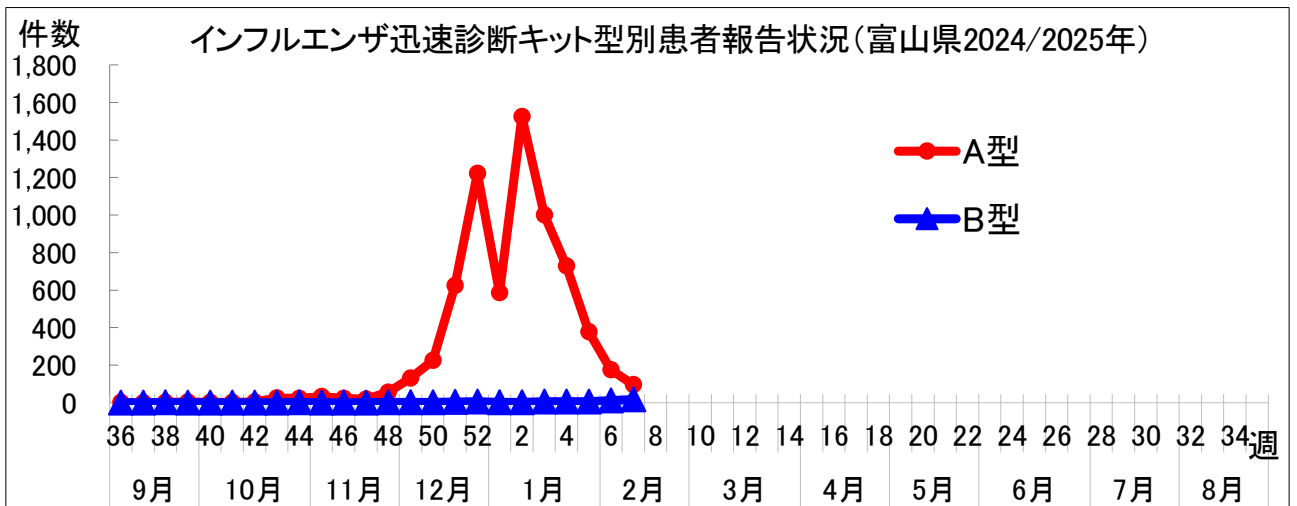
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が80.2%、B型が14.0%となっています。

第7週(2/10~2/16)：富山県 2.52人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	12	0	0	12
中部	3 / 5	8	0	1	9
高岡	9 / 13	39	5	4	48
砺波	2 / 7	7	0	0	7
富山市	11 / 16	31	12	2	45
富山県	29 / 48 ^{※1}	97	17	7	121
富山県累計(2024年36週~)		6,884	62	442	7,388

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が29か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



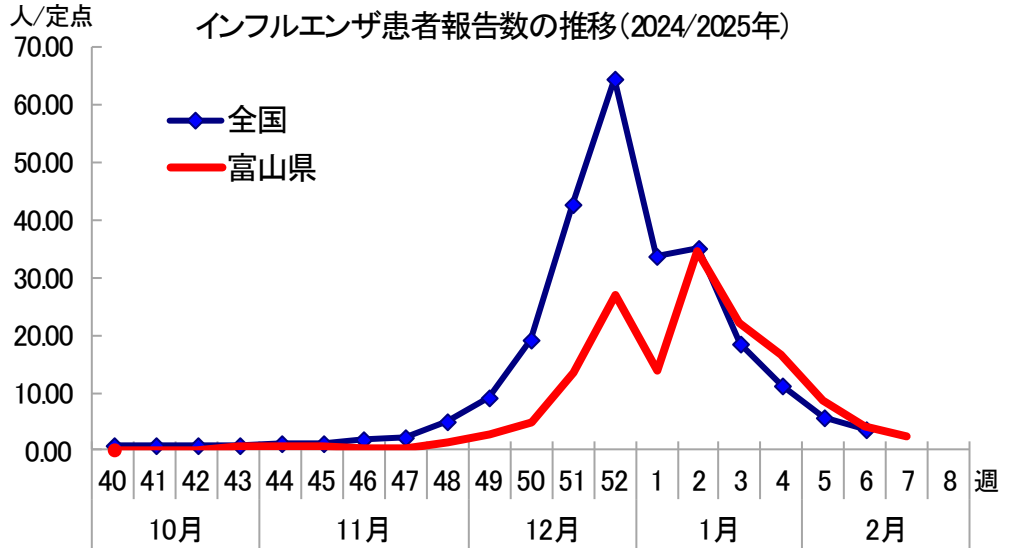


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第7週 (2/10~2/16) : 富山県 2.52 人/定点

新川 HC (1.71)、中部 HC (1.80)、高岡 HC (3.69)、砺波 HC (1.00)、富山市 HC (2.81)

全国の患者報告数は、第6週に3.78人/定点となり、第2週から減少が続いています。
 県内の患者報告数は、第7週に2.52人/定点となり、全国と同様に第2週から減少が続いています。

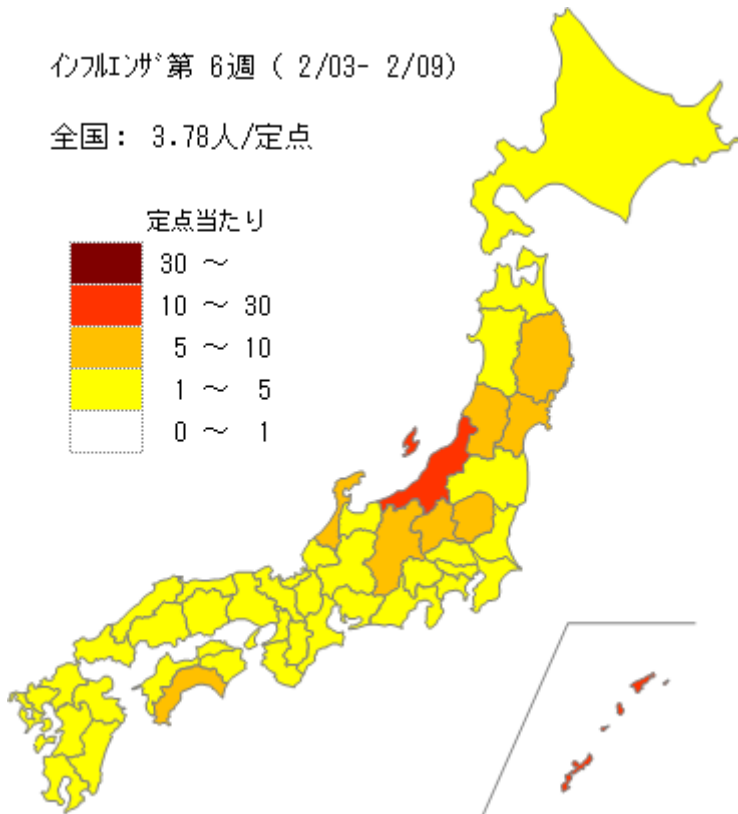


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第6週 (2/3~2/9)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり3.78人となり、前週の5.87人より減少しました。
 47都道府県すべてで前週より減少しています。

インフルが第6週 (2/03- 2/09)

全国：3.78人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	4.37 ↓	滋賀県	2.27 ↓
青森県	4.86 ↓	京都府	2.41 ↓
岩手県	8.94 ↓	大阪府	2.35 ↓
宮城県	6.01 ↓	兵庫県	2.53 ↓
秋田県	3.60 ↓	奈良県	4.49 ↓
山形県	8.59 ↓	和歌山県	4.15 ↓
福島県	2.12 ↓	鳥取県	2.31 ↓
茨城県	2.75 ↓	島根県	2.32 ↓
栃木県	5.04 ↓	岡山県	2.24 ↓
群馬県	6.98 ↓	広島県	1.92 ↓
埼玉県	4.22 ↓	山口県	2.60 ↓
千葉県	4.10 ↓	徳島県	2.68 ↓
東京都	2.69 ↓	香川県	3.87 ↓
神奈川県	3.13 ↓	愛媛県	3.25 ↓
新潟県	10.79 ↓	高知県	5.23 ↓
富山県	4.17 ↓	福岡県	2.87 ↓
石川県	5.94 ↓	佐賀県	4.10 ↓
福井県	3.72 ↓	長崎県	4.40 ↓
山梨県	1.78 ↓	熊本県	3.54 ↓
長野県	6.06 ↓	大分県	1.86 ↓
岐阜県	2.78 ↓	宮崎県	3.62 ↓
静岡県	4.86 ↓	鹿児島県	2.35 ↓
愛知県	3.99 ↓	沖縄県	11.46 ↓
三重県	2.50 ↓	全国	3.78 ↓